

麻生養護学校 校長室たより

麻生の風

校長 奥野 康子

新年度が始まりました。

今年は、4月5日の始業式入学式にあわせて桜が見ごろを迎え、彩りを添えていました。子どもたちの笑顔がたくさん花咲く一年になるよう願っています。

麻生養護学校のホームページが新しくなりました。

麻生養護学校のこと、麻生養護学校で学ぶ子どもたちのことを多くの方々に知っていただく場所として、これから積極的に活用していきたいと考えています。よろしくお願ひします。

コンセプトは、「見やすい、操作しやすい」「新鮮な内容」そして「インクルージョン」です。

本校は、開校 12 年目の知肢併置校です。開校より「インクルージョンを目指す学校」を基本理念として掲げ歩んでまいりました。王禅寺にある本校の他に、県立元石川高校の中に高等部の分教室、重症心身障害児施設「ソレイユ川崎」の中に施設訪問のひまわり学級、そして在宅訪問があり、今年度は、児童生徒数 304 名でスタートします。学ぶ場所は、それぞれですがみんな麻生養護学校の仲間です。

そして、麻生養護学校を支えてくれる仲間もたくさんいます。ボランティアの方々は、年間延べ 900 名近くにのぼり、子どもたちの教育活動を見守ってくださいます。ヴァイオリニスト五嶋みどり氏のご協力により「特定非営利活動法人ミュージック・シェアリング」様からは音楽グループに楽器と指導者の提供を受け、12 年間授業を続けてくることが出来ました。昭和音楽大学を始め近隣の大学の協力も多岐に渡っています。最近では、「一般社団法人 canawell (カナウェル)」様の協力で、ダンス等の活動も加わりました。王禅寺町内会や虹ヶ丘自治会、その中にある小中学校や地域の施設も、教育活動を支えていただいております。

入学式の新入生代表挨拶に胸が震えました。一部をご紹介します。

「僕は、この三年間で自分が一生興味を持てる何かを探していきたいと考えています。自分が好きなこと、自分が出来ること、自分が人の役に立てることが一つでも多く見つかるよう努力していきたいと思います。」

この願ひを実現できるようにすることが学校の役割、校長の役目と深く心に受け止めました。多くの方々と共に、誰もが互いを認め共に生きるということについて考え、実現できるように努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

